



News Release

(別添)

2021年 11月 25日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

毎年 100 件以上発生 ～ストーブ、ファンヒーターの事故に注意！！～

1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、ストーブ、ファンヒーター^{※2}に関する製品事故は、近畿地方 2 府 4 県 (滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県) では、2016 年度から 2020 年度までの 5 年間に 145 件ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故 (ヒヤリハット情報 (被害なし) を含む)。

(※2) 本資料では石油ストーブ、石油ファンヒーター、電気ストーブ及び電気ファンヒーターの4種をまとめて「ストーブ、ファンヒーター」と記述します。

1-1. 事故発生状況

(1) 年別 府県別 事故発生状況

表 1 年別 府県別 事故発生件数^{※3} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2016 年度	1 [1]	3 [2]	19 [12]	12 [8]	5 [4]	2 [2]	42 [29]
	2017 年度	1 [1]	2 [2]	9 [7]	10 [7]	4 [4]	2 [2]	28 [23]
	2018 年度	3 [3]	11 [8]	8 [3]	7 [7]	1 [0]	2 [2]	32 [23]
	2019 年度	1 [1]	3 [3]	12 [11]	3 [3]	1 [1]		20 [19]
	2020 年度	3 [3]		12 [7]	8 [5]			23 [15]
合計	事故件数	9	19	60	40	11	6	145
	火災件数	[9]	[15]	[40]	[30]	[9]	[6]	[109]

(※3) [] は火災件数。

(2) 府県別 被害状況

表 2 府県別 被害状況^{※4} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的 被害	死亡	1 (1) [1]	2 (2) [2]	7 (8) [6]	3 (3) [3]			13 (14) [12]
	重傷			2 (2) [2]				2 (2) [2]
	軽傷	2 (4) [2]	4 (6) [4]	3 (3) [3]	3 (3) [3]	2 (3) [2]		14 (19) [14]
物的 被害	拡大被害 ^{※5}	4 [4]	8 [8]	24 [21]	24 [19]	7 [7]	4 [4]	71 [63]
	製品破損	2 [2]	5 [1]	24 [8]	10 [5]	2 [0]	2 [2]	45 [18]
合計	事故件数	9	19	60	40	11	6	145
	被害者数	(5)	(8)	(13)	(6)	(3)	(0)	(35)
	火災件数	[9]	[15]	[40]	[30]	[9]	[6]	[109]

(※4) ()は被害者数、[]は火災件数。物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。

(※5) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと

(3) 製品別 府県別 事故発生状況

表3 製品別 府県別 事故発生件数^{※6} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
石油ストーブ		2	7	12	8	4	2	35
		[2]	[7]	[11]	[8]	[4]	[2]	[34]
石油ファンヒーター		1	4	5	2	2	1	15
		[1]	[4]	[3]	[2]	[2]	[1]	[13]
電気ストーブ		6	6	34	25	3	3	77
		[6]	[2]	[18]	[16]	[2]	[3]	[47]
電気ファンヒーター			2	9	5	2		18
			[2]	[8]	[4]	[1]		[15]
合計	事故件数	9	19	60	40	11	6	145
	火災件数	[9]	[15]	[40]	[30]	[9]	[6]	[109]

(※6) [] は火災件数。

2. 事故事例の概要

可燃物の接触による火災事故

事故発生年月日 2020年9月（奈良県、70歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の石油ストーブ付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

石油ストーブ上で衣類を乾かしていたため、落下した衣類がストーブに接触し、発火したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「衣類の乾燥厳禁。衣類などの乾燥には使用しない。衣類が落下して火がつき、火災の原因になる。」旨、記載されている。

清掃不足による火災事故

事故発生年月日 2020年4月（大阪府、60歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

使用中の石油ストーブ付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

石油ストーブは、芯が正常な高さまで上がっておらず、内部に多量のすすが付着していたことから、日常的に不完全燃焼が起こっていたと考えられ、堆積したすすによって空気の流れが悪くなったことで吹き返し現象^{※7}が生じ、堆積していたほこりが燃えたものと考えられる。

(※7) 吸気不足などで炎が空気取り入れ口から逆流して出てくる現象

3. ストーブ、ファンヒーターの事故映像について

ストーブ、ファンヒーターに関する製品事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE ロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 山崎 卓矢

担当者：製品安全広報課 向井

電話：06-6612-2066 mail：ps@nite.go.jp